

みんなの健康ラジオ

『保険適応拡大が進む重粒子線治療』

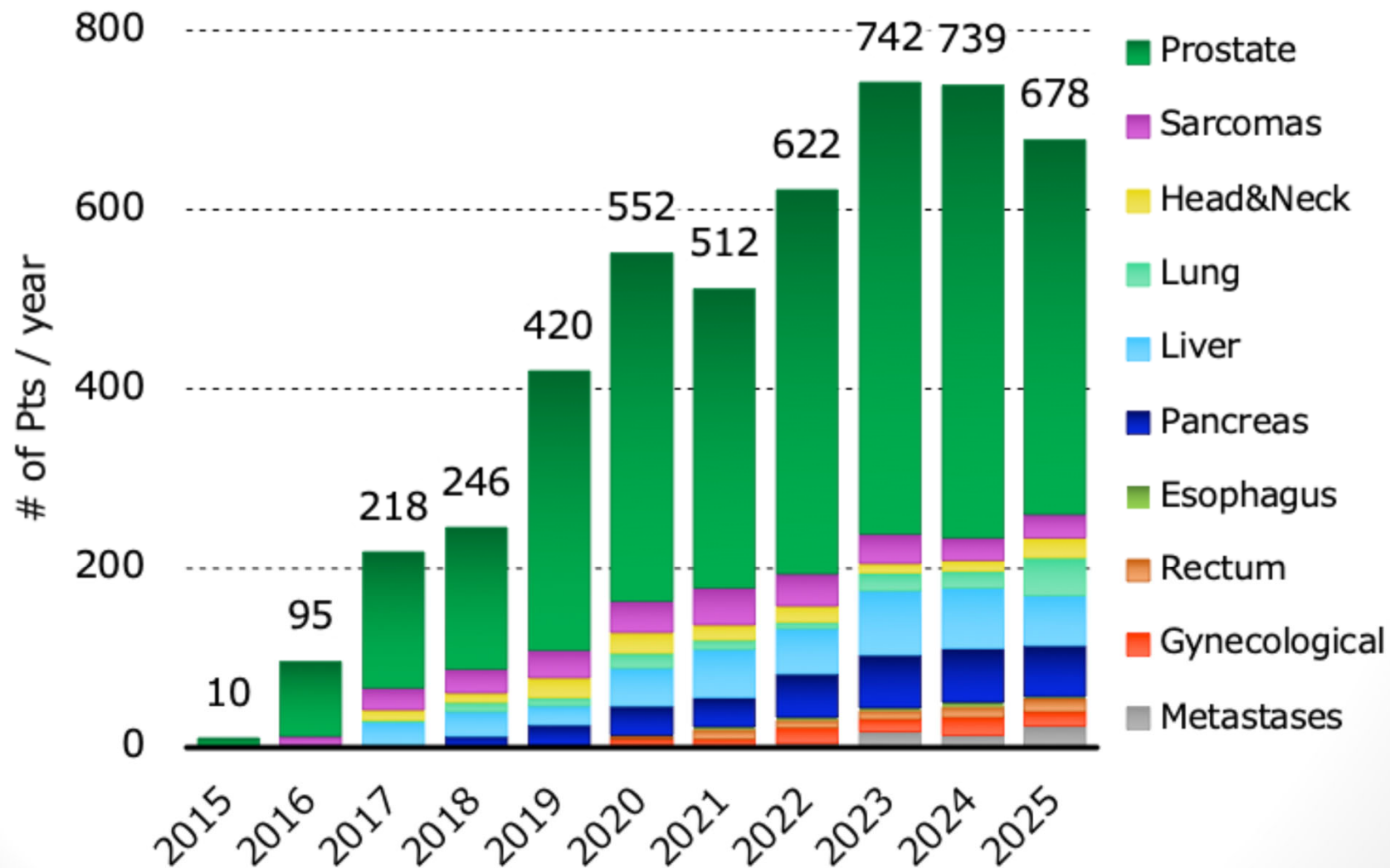
(2026年7月16日放送)

横浜市放射線医会

神奈川県立がんセンター

加藤 弘之

神奈川県立がんセンターでの 重粒子線治療患者数



重粒子線治療が 勧められる病態

根治切除が不可能な限局性がん

- 遠隔転移がなく、根治が目指せる。
- 複数病変でも1治療範囲に限局している。
- 手術が困難な理由がある。
- より少ない副作用を期待する。



白血病、リンパ腫、乳がん、食道を除く消化管のがん、
多発転移、骨転移などは適応になっていません。

重粒子線治療に関する 医療制度の変遷

2003年10月より高度先進医療
2006年10月より先進医療

先進医療A

- ・ 固形がん
- ・ 施設別の運用

1994年6月

自由診療

- ・ 安全性試験
- ・ 国外患者

2016(平成28)年度診療報酬改定

保険診療

- ・ 施設基準
- ・ 手術による根治的な治療が困難な骨軟部腫瘍の患者
- ・ がん診療拠点病院の施設基準に基づくカンサーボードによる患者選定

先進医療B

- ・ 施設基準
- ・ 重点評価疾患
- ・ 多施設共同臨床試験
- ・ 先進医療Aより優先登録

先進医療A

- ・ 施設基準
- ・ 保険診療・先進医療Bに外れるもの
- ・ 統一治療方針
- ・ 統一説明同意文書

- ✓ J-CROS 1501 Lung
- ✓ J-CROS 1502 Pancreas
- ✓ J-CROS 1505 Liver
- ✓ J-CROS 1506 Rectum
- ✓ J-CROS 1509 Prostate

- ・ キンサーボードの開催
- ・ 全例中央登録
 - 保険診療・先進医療B・自由診療のすべてを含む

※保険収載疾患は「先進医療B」未載に。
→ただし、厚生労働省より最終報告を要望されたため、「保険診療」として調整した上で継続。

2018(平成30)年度診療報酬改定

- ・ 適応拡大 頭頸部悪性腫瘍、前立腺癌

2022(令和4)年度診療報酬改定

- ・ 適応拡大 肝臓癌、膵臓癌、大腸癌、子宮頸部腺癌

2024(令和6)年度診療報酬改定

- ・ 適応拡大 早期肺癌、子宮頸部扁平上皮癌、婦人科悪性黒色腫

2026(令和8)年度診療報酬改定

- ・ 適応拡大 大腸癌・孤発生肺転移

保険診療以外の統一治療方針

令和8年度での 重粒子線治療の医療制度

保険診療

保険局管轄

- 希少な疾病（最大237.5万円）
 - 頭頸部悪性腫瘍（口腔・咽喉頭の扁平上皮癌を除く）
 - 手術による根治的な治療法が困難な以下の疾患
早期肺癌（IIA期以下）、限局性の骨軟部腫瘍、肝細胞癌（直径4cm以上）、肝内胆管癌、局所進行膵癌、局所大腸癌（手術後に再発したものに限る）、局所進行子宮頸部腺癌、局所進行子宮頸部扁平上皮癌（長径6cm以上）、婦人科悪性黒色腫、大腸癌肺転移（局所再発や他の遠隔転移がない）
- それ以外（最大160万円）
 - 限局性及び局所進行性前立腺癌（転移を有するものを除く）

最大で3割負担

さらに高額療養費制度の対象最大でも27万円程度

先進医療B

医政局管轄

- 各研究計画書による（施設別：先進医療費・約350万円）
 - 早期肺癌、肝細胞癌、膵臓癌、大腸癌局所再発、前立腺癌
→すべて終了（膵臓癌のみ経過観察継続中）

先進医療A

保険局管轄

- 統一治療方針による（施設別：先進医療費・約350万円）
 - 保険・先進医療B以外
 - 肺・食道・肝・膵・腎・大腸・直腸・子宮・転移（肺・肝・リンパ節）

全額患者負担

重粒子線治療の治療費

先進医療 の場合

350万円

民間保険の先進医療特約の対象になります。

保険診療 の場合

約10万円

50歳男性・年収700万円・前立腺がんで高額療養費制度適用
最大で27万円程度